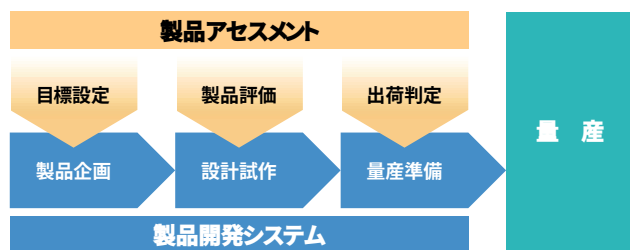


環境配慮型製品の開発

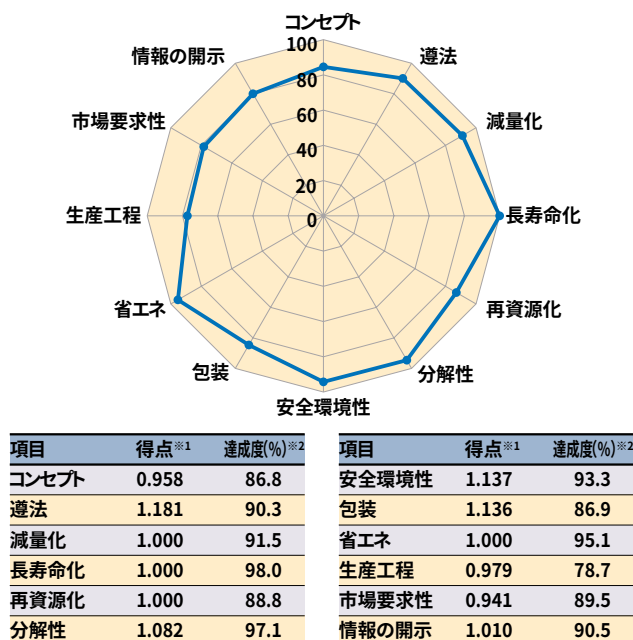
12

製品アセスメント

製品アセスメントとは、製品の開発・設計段階からそのライフサイクルにおける環境への影響を評価し、より環境負荷の少ない製品（環境配慮型製品）づくりを行う手法です。TDKでは、環境配慮型製品の開発を効率的かつ全社統一基準で進めるため、1998年に「TDK製品アセスメント」を制定し、1999年に国内事業所で運用を開始。2000年3月までにすべての海外事業所でも運用を開始しました。TDKでは、新製品の開発には製品アセスメントを義務づけ、開発の各段階において製品アセスメントを実施し、環境負荷の低減を図っています。



製品アセスメント実施結果の例

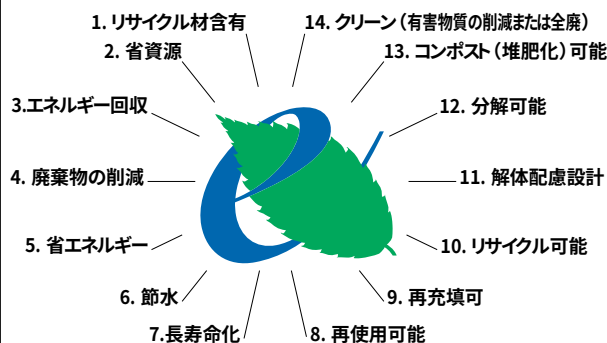


※1 得点は、従来製品との環境面での比較を表し1より大きい場合、環境面で改善しています。
 ※2 達成度は、各評価項目を全て満足した場合100%としています。

環境自己主張マーク

TDKでは、環境配慮型製品のコンセプトを明確にし、新製品開発時の環境面での目標として環境配慮の推進に役立てることを目的に、「TDK環境自己主張マーク」（環境配慮型製品認定制度）を1999年12月に制定しました。

環境配慮の14分野



LCAの導入

LCA（ライフサイクルアセスメント）は、原料調達から最終廃棄までの環境負荷を定量的に把握し、評価する手法です。TDKでは、製品アセスメントをレベルアップさせるために、2000年にLCA導入を決定。2001年より事業部ごとに試行を始め、2002年より主力製品についてLCAを導入していく計画です。



LCAの実習